



2018年（平成30年）10月3日

都心直通用新型車両「20000系」 2018年度グッドデザイン賞を受賞 自動車を思わせる前面の造形や開放的な車内を高く評価

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、相鉄・東急直通線※用に導入する車両「20000系」が10月3日（水）、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。鉄道車両としては9000系リニューアル車両に続き、2回目の受賞となります。

「グッドデザイン賞」は、（公財）日本デザイン振興会が主催し、国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に表彰が行われています。

今回受賞した都心直通用新型車両「20000系」は、従来の通勤型車両のイメージを打ち破る立体的でインパクトのあるデザインを使用している先頭形状や、横浜をイメージした「YOKOHAMA NAVYBLUE」で車体全体を塗装し「横浜を走る鉄道」を想起させることなど、通勤型車両としては他では見られない斬新なデザインやアイデアを随所に取り入れています。

また、鉄道を単なる移動手段ではなく、「生活のゆとりや温かさ」をお客さまに感じていただけるよう車内に工夫を凝らしています。時間帯で色調が変化するLED照明や、空調設備を工夫して実現した高い天井、ガラス製の荷棚・仕切り・貫通扉を採用した、開放感のある室内が今回の受賞につながりました。

相鉄グループでは、都心との相互直通運転を契機としてさらなる認知度・好感度の向上を図るとともに、「選ばれる沿線」を実現する事業にグループ一丸となって取り組んでまいります。

詳細は別紙のとおりです。



相鉄・東急直通線用車両として
開発された「20000系」

「2018年度 グッドデザイン賞」受賞の詳細

■都心直通用新型車両「20000系」

1. 概 要

2018年2月に登場。2022年度下期に予定している東急線との相互直通運転※を迎えるにあたり、デザインブランドアッププロジェクトのコンセプトを反映して新造された車両です。横浜をイメージした「YOKOHAMA NAVYBLUE」で車体を塗装。グレー色を基調にした内装、時間帯で色調が変化する調色調光式のLED照明を採用しています。今後、相鉄線沿線から都心に乗り入れることから、これまでの通勤型車両には見られない斬新なデザイン、アイデアを随所に取り入れています。

この度、高い評価をいただいた理由の一つである先頭形状に通勤型車両のイメージを打ち破る立体的でインパクトのあるデザインを使用。車内は、空調設備を工夫して実現した高い天井やガラス製の荷棚・仕切り・貫通扉の採用により、開放感のある室内としました。また、全ての車両にベビーカー・車椅子用のフリースペースを設置し、優先席の一部には立ち座りが容易になる「ユニバーサルデザインシート」を導入している他、相鉄線では初となる「ナノイー」*搭載の空気清浄機、駅に長時間停車する際にお客さまがドアの開閉を行える「個別ドアスイッチ」を新たに導入しています。



立ち座りが容易な「ユニバーサルデザインシート」

*「ナノイー」は、パナソニック(株)の登録商標です。

2. 開発コンセプト

安全×安心×エレガント ～目先のトレンドに左右されない「醸成するデザイン」～

3. グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

自動車を思わせる前面の造形は、ネイビーブルーのカラーとともに、無味乾燥になりがちな通勤車両に明確な表情を与えることに成功している。天井中央を一段高くし、座席の仕切り板に強化ガラスを用いた開放的な車内は、優先席の座席を立ち座りのしやすい形状としたことが目を引く。大型化した液晶ディスプレイ部分を黒色処理とすることで、識別しやすくしている点も好感が持てる。

4. その他

グッドデザイン賞ウェブサイト紹介ページ

<http://www.g-mark.org/award/describe/47631>

デザインブランドアッププロジェクト ウェブサイト

<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>



グッドデザイン賞
ウェブサイト紹介ページ



デザインブランドアップ
プロジェクト ウェブサイト

■2018年度グッドデザイン賞受賞展

(1) 日 時 2018年10月31日(水)～11月4日(日)

11時から20時まで(最終日は18時まで)

(2) 場 所 東京ミッドタウン(ホール&カンファレンス、デザインハブ他)

住所: 東京都港区赤坂9-7-1

※「相鉄・JR、相鉄・東急直通線」とは・・・

相鉄では、JR線と東急線との相互直通運転を予定しています。

相鉄・JR直通線〔2019年度下期開業予定〕は、相鉄線 西谷駅と羽沢横浜国大駅*間に連絡線を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。

相鉄・東急直通線〔2022年度下期開業予定〕は、羽沢横浜国大駅*と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線を新設し、この連絡線を利用して相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。

この横浜市西部および神奈川県央部と東京都心部とを直結する新たな路線の開業により広域鉄道ネットワークが形成され、所要時分の短縮や乗換回数の減少など、鉄道の利便性向上が図られるとともに、地域の活性化等に寄与します。新幹線へのアクセスの向上や相鉄線沿線等のさらなる発展にも貢献します。

* 神奈川東部方面線（相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線）は、都市鉄道等利便増進法に基づき、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備を行っています。駅名については、整備主体である（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構と営業主体である相模鉄道及び東急電鉄が、同法に基づく手続きを行ったうえで、正式に決定します。

神奈川東部方面線ウェブサイト

(<http://www.chokutsusen.jp/>)

